

職業実践専門課程の基本情報について

| | | | | | |
|----------------|--|----------------|---|--|----------|
| 学 校 名 | 設置認可年月日 | 校 長 名 | 所 在 地 | | |
| 東海医療学園 専門学校 | 平成7年8月3日 | 杉山 誠一 | 〒413-0006 静岡県熱海市桃山町20番7号 (電話)0557-82-0459 | | |
| 設 置 者 名 | 設立認可年月日 | 代 表 者 名 | 所 在 地 | | |
| 学校法人 東海医療学園 | 平成13年3月27日 | 杉山 誠一 | 〒413-0006 静岡県熱海市桃山町20番7号 (電話)0557-82-0459 | | |
| 目 的 | あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師としての必須の知識・技術を授け、また豊かな人間性を 育み、広く社会に貢献できる人材を育成する。 | | | | |
| 課 程 名 | 学 科 名 | 修業年限 (昼、夜別) | 全課程の修了に必 要な総授業時数又 は総単位数 | 専門士の付与 | 高度専門士の付与 |
| 医療専門課程 | 鍼灸マッサージ科 | 3年(昼) | 97単位 | 平成10年文部科学 大臣告知第179号 | ——— |
| 教 育 課 程 | 講義 | 演習 | 実験 | 実習 | 実技 |
| | 70単位 | 2単位 | 単位 | 単位 | 25単位 |
| 生徒総定員 | 生徒実員 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 120人 | 124人 | 8人 | 15人 | 23人 | |
| 学期制度 | ■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日 | | 成績評価 | ■成績表(有)無) ■成績評価の基準・方法について 試験(筆記、レポート、実技等)に より合格者に単位認定を行う。 | |
| 長期休み | ■学年始め:4月1日 ■夏 季:8月1日～9月20日 ■冬 季:12月20日～1月10日 ■学 年 末:3月20日～4月7日 | | 卒業・進級条件 | 進級:各学年において履修すべき授業科 目の単位を修得した者 卒業:単位を全て修得し、卒業認定試験 に合格した者 | |
| 生徒指導 | ■クラス担任制(有)無) ■長期欠席者への指導等の対応 担任を中心に本人、保護者との面談等 を行い、改善が見られた場合は補講等を実施 し、学力の向上をはかる | | 課外活動 | ■課外活動の種類 日本平さくらマラソン 等 ■サークル活動(有)無) サッカー同好会 | |
| 就職先等の状況 | ■主な就職先、業界 病院、治療院、スポーツ分野、美容 分野、福祉関係 など ■就職率 ^{※1} 91.2% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} 83.8% ■その他(任意) | | 主な資格・検定 | あん摩マッサージ指圧師、はり師、 きゅう師国家試験受験資格 | |

| | |
|---------|---|
| 中途退学の現状 | <p>■中途退学者 2名 ■中退率 1.6%</p> <p>平成27年 4月 1日在学者 126 名(平成27年 4月入学者を含む)</p> <p>平成28年 3月 31日現在在学者 124 名(平成28年 3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>・学業不振 ・進路変更</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>ミスマッチを防ぐため、授業を通じて仕事のやりがいや楽しさ、資格取得への意欲を高めるよう努力している。また、継続的な面談により、学生の問題を早期に把握するよう努めている。</p> |
| ホームページ | URL: http://www.tokaicom.ac.jp |

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師として必要な知識・臨床能力を習得させ、更に施術者としての態度を身につけさせることを目的とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 28 年5月1日現在

| 名 前 | 所 属 |
|-------|--|
| 齋藤恭二郎 | 公益社団法人静岡県鍼灸マッサージ師会 理事長 |
| 中村 聡 | 公益社団法人静岡県鍼灸師会 会長 |
| 川崎 英正 | EMエスマイスター 代表 |
| 澤登 拓 | 株式会社フレアス 代表 |
| 矢田 真樹 | 三島大蔵鍼灸院 院長 |
| 青木真知子 | 東海医療学園専門学校 講師(青木はりきゅう処 院長) |
| 山田 英史 | 東海医療学園専門学校 講師(はり・きゅう治療 Oriental Medicine Treatment Room Yamada 院長) |
| 水野 浩一 | 東海医療学園専門学校 教務課長 |

(開催日時)

第1回 平成 27 年 7 月 6 日 16:00~18:00

第2回 平成 27 年 11 月 16 日 16:00~18:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

学校で習得した知識・技術を礎に、更に実践できる能力を高めること、並びに職業人としての態度・習慣を身につけることを目的として、企業等との連携による実習・演習を行う

| 科 目 名 | 科 目 概 要 | 連 携 企 業 等 |
|----------|---|--|
| 鍼灸応用実習Ⅱ | 鍼灸臨床において必要な知識、技術を身につけるとともに、流れ、方法、バランスを考えた施術ができる能力を身につける | 青木はりきゅう処 |
| 東洋医学臨床論Ⅰ | 臨床で遭遇すると思われる主な症候に対し、現代医学的な考え方に基いて適切な施術ができるための知識を習得する | はり・きゅう治療 Oriental Medicine Treatment Room Yamada |

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

実践的な職業教育を行う上で必要な教員の実務卓越性並びに指導力の向上を図ることを目的として、企業等との連携に基づいた研修、研究を行う。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 27 年5月1日現在

| 名 前 | 所 属 |
|-------|----------------------|
| 羽鳥 龍行 | 東海医療学園専門学校 校友会会長 |
| 田中 博 | NPO法人熱海市体育協会 事務局長 |
| 中村 聡 | 公益社団法人静岡県鍼灸師会会長 |
| 齋藤恭二郎 | 公益社団法人静岡県鍼灸マッサージ師会会長 |
| 鈴木 秀旺 | 熱海市連合町内会 会長 |
| 矢田 真樹 | 静岡県鍼灸学術研究会 会長 |

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページ URL: <http://www.tokaicom.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページ URL: <http://www.tokaicom.ac.jp>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

| (医療専門課程鍼灸マッサージ科) 平成28年度 | | | | | | | | | | |
|-------------------------|------|------|--------------|---|---------|----------|-----|-------|----|----------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 社会福祉概論 | 現代社会における社会福祉の理念と意義を学ぶ。 | 1後 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 生命科学 | 生物の基本的な構造や機能について学ぶ。 | 1前 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 医学史 | 世界の医学の歴史について学ぶ。 | 1後 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 心理学概論 | 心理学に関する基本的な知識と、現場での心理学のテクニックを学ぶ。 | 1後 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 栄養学 | 身体の健康を保つための食物の供給と、肉体的、精神的、社会的健康の維持の重要性を学ぶ。 | 1前 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 人間関係学 | 人間関係のあり方を見直し、新たな人間関係のあり方を考え、周囲と協調していく力を養う。 | 1前 | 30 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | スポーツ健康科学 | 健康づくりと基本的な生活習慣、スポーツの関わり方について学ぶ。 | 1前 | 30 | 2 | ○ | | △ |
| ○ | | | 人体の構造と機能 I | 患者の診察、治療に必要な人体の構造、機能について学ぶ。主に骨の一般、骨格、骨の連結について習得する。 | 1通 | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 人体の構造と機能 II | 患者の診察、治療に必要な人体の構造、機能について学ぶ。主に筋の分類・名称・役割等について習得する。 | 1通 | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 人体の構造と機能 III | 患者の診察、治療に必要な人体の構造、機能について学ぶ。主に内臓の一般構造、消化器系、代謝と体温、内分泌系について習得する。 | 1通 | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 人体の構造と機能 IV | 患者の診察、治療に必要な人体の構造、機能について学ぶ。主に泌尿器系、生殖器系の構造について理解する。 | 1通 | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 人体の構造と機能 V | 患者の診察、治療に必要な人体の構造、機能について学ぶ。主に神経系について習得し理解する。 | 1通 | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 人体の構造と機能 VI | 患者の診察、治療に必要な人体の構造、機能について学ぶ。主に呼吸器系、循環器系について習得する。 | 1通 | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 運動学 | 人体の運動についての基本を学ぶ。 | 1後 | 30 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 東洋医学概論 I | 東洋の自然哲学、東洋医学における人体の構造や機能、病理観などについて学ぶ。 | 1通 | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 経絡経穴概論 | 東洋医学の一つの基本概念となる経絡経穴についての概要、意義、取穴法について学ぶほか、経絡経穴の名称・部位・解剖学的特性についても習得する。 | 1通 | 60 | 2 | ○ | | |
| | | | | | 2前 | 30 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | あん摩基礎実習 | あん摩施術の基本的な技術・知識を習得し、安全かつ確実に施術ができる能力を身につける。 | 1通 | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | マッサージ基礎実習 | マッサージ施術の基本的な技術・知識を習得し、安全かつ確実に施術ができる能力を身につける。 | 1通 | 60 | 2 | | | ○ |
| 合計 | | | | | 18科目 | 870単位時間(| | 36単位) | | |

授業科目等の概要

| (医療専門課程鍼灸マッサージ科) 平成28年度 | | | | | | | | | | |
|-------------------------|------|------|--------------|--|---------|----------------|-----|------|----|----------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 衛生学・公衆衛生学 | 健康と長寿を実現する為の科学であり、実践的活動である衛生学・公衆衛生学について学ぶ | 3前 | 30 | 1 | ○ | △ | |
| ○ | | | リハビリテーション医学 | 理学療法に関する基本的な知識・技術を習得し、チーム医療の重要性を理解し、リハビリテーションに寄与する能力と態度を身につける。 | 3通 | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 医療概論 | 日本の医療制度、医療倫理について学ぶ。 | 3後 | 15 | 1 | ○ | △ | |
| ○ | | | 地域保健医療論 | 地域医療保健に貢献することのできる施術者になるため、在宅ケアにおいて適切な施術を提供できる知識・技術・態度を身につける。 | 3後 | 15 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 社会あはき演習 | 在宅ケアに必要な関節可動域・筋力増強訓練の方法について概説でき、褥瘡と感染予防などの患者のリスク管理について学ぶ。 | 3後 | 15 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | あん摩マッサージ指圧理論 | あん摩マッサージ指圧の意義、基本手技、関連手技の原理、臨床応用、リスク管理、治効の基礎、関連学説について学ぶ。 | 3後 | 30 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 鍼灸理論 | 鍼灸の基礎知識、臨床応用、リスク管理、治効理論の基礎、関連学説について学ぶ。 | 3通 | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 東洋医学臨床論Ⅰ | 臨床で遭遇すると思われる主な症候に対し、現代医学的な考え方に基づいて、適切な施術ができるための知識・技術を習得する。 | 3通 | 60 | 2 | ○ | | △ |
| ○ | | | 東洋医学臨床論Ⅱ | 臨床で遭遇すると思われる主な症候に対し、現代医学的な考え方に基づいて、適切な施術ができるための知識を習得する。 | 3通 | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 東洋医学臨床論Ⅲ | 臨床下で行われている様々な治療法について、その概要を知り臨床の場で応用できるような知識・技術を身につける。 | 3通 | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 施術所経営論 | 施術所に関する法令や、施術所開設の基本的知識を学ぶ。 | 3後 | 15 | 1 | ○ | △ | |
| ○ | | | 鍼灸応用実習Ⅱ | 鍼灸臨床において、必要な知識・技術を身につけるとともに、流れ、方法、バランスを考えた施術が出来る能力を身につける。 | 3通 | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | 鍼灸応用実習Ⅲ | 各症候に対する鍼灸施術にあたって、必要な基礎的知識と技術を習得する。 | 3通 | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | 臨床実習 | 患者に対する臨床実践を通して、施術者としての態度・習慣、並びに安全・適切な施術を行うための基本的能力を養う。 | 3通 | 90 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | 総合臨床 | 鍼灸臨床で必要な心理学について学ぶ。 | 3通 | 60 | 2 | ○ | △ | |
| ○ | | | スポーツ東洋療法 | スポーツ分野の鍼灸施術において必要な知識・技術を習得し、適切な施術を行うことができる能力を身につける。 | 3通 | 60 | 2 | ○ | △ | |
| ○ | | | 女性小児の東洋療法 | 女性・小児に対する東洋療法に必要な知識・技術を習得し、適切な施術を行うことのできる能力を身につける。 | 3前 | 30 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 高齢者ケアの東洋療法 | 高齢者社会における東洋療法のニーズを知るとともに、高齢者の特性を踏まえた診療ができるよう必要な知識・技術・態度を身につける。 | 3前 | 30 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 症例検討 | 実際に行った施術について、診療録を基に検討を行い、診察方法・病態把握・治療方法等に関して討論できるようにする。 | 3後 | 30 | 1 | | ○ | |
| 合計 | | | | | 19科目 | 840単位時間(29単位) | | | | |
| 総計 | | | | | 56科目 | 2670単位時間(97単位) | | | | |

授業科目等の概要

| (医療専門課程鍼灸マッサージ科) 平成28年度 | | | | | | | | | | |
|-------------------------|------------------|------------------|-----------|--|---------|--------------|-------------|--------|--------|--------------------------------------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | |
| 必 修 | 選 択 必 修 | 自 由 選 択 | | | | | | 講 義 | 演 習 | 実 験 ・ 実 習 ・ 実 技 |
| ○ | | | 鍼灸基礎実習Ⅰ | 鍼灸施術の基本的な技術・知識を習得し、安全かつ確実に施術ができる能力を身につける。 | 1 通 | 120 | 4 | | | ○ |
| ○ | | | 病理学概論 | 病態生理学に関する知識として、疾病の原因、成り立ち、経過等に対する形態的、機能的変化について習得する。 | 2 通 | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 臨床医学総論 | 臨床にあたる上で必要な診察法や検査法を習得し、施術の適否を判断する能力を養う。 | 2 通 | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 臨床医学各論Ⅰ | 各疾患の概要を学習し、施術の適否の鑑別や病態説明ができる能力を身につける。 | 2 通 | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 臨床医学各論Ⅱ | 各疾患の概要を学習し、施術の適否の鑑別や病態説明ができる能力を身につける。 | 2 通 | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 臨床医学各論Ⅲ | 各疾患の概要を学習し、施術の適否の鑑別や病態説明ができる能力を身につける。 | 2 通 | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 東洋医学概論Ⅱ | 東洋医学的診断法、治療原則、治療方法について習得し、病気の予防、診察、治療において適切な対応ができるようにする。 | 2 通 | 60 | 2 | ○ | | |
| ○ | | | 診察学Ⅰ | 臨床にあたる上で必要な整形外科的、神経学的検査の基本的知識・技術を習得する。 | 2 通 | 60 | 2 | ○ | | △ |
| ○ | | | 診察学Ⅱ | 臨床の現場において、東洋医学の適・不適を鑑別し、診察を行って証を立てる事を習得する。 | 2 通 | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | 臨床経穴学 | 経絡経穴の基となる古典の考え方にに基づき、実際に取穴する能力を養う。 | 2 後 | 30 | 1 | ○ | | |
| ○ | | | 指圧基礎実習 | 指圧施術の基本的な技術・知識を習得し、安全かつ確実に施術ができる能力を身につける。 | 2 前 | 30 | 1 | | | ○ |
| ○ | | | 鍼灸基礎実習Ⅱ | 鍼灸施術の基本的な技術・知識を習得し、安全かつ確実に施術ができる能力を身につける。 | 2 通 | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | あん摩応用実習 | あん摩施術が円滑に行える技術を習得する。また施術機会の多い症状に対する施術が行える技術を身につける。 | 2 通 | 30 | 1 | | | ○ |
| ○ | | | マッサージ応用実習 | 特殊な部位におけるマッサージ施術の基本的な技術・知識を習得し、安全かつ確実に施術ができる能力を身につける。 | 2 通 | 30 | 1 | | | ○ |
| ○ | | | 指圧応用実習 | 指圧施術の基本的な技術・知識を活かし、安心、安全、安定を目指し、様々な技術の融合をはかる。 | 2 前 | 30 | 1 | | | ○ |
| ○ | | | 鍼灸応用実習Ⅰ | 各症候に対する鍼灸施術にあたって、必要な基礎的知識・技術を習得する。 | 2 通 | 60 | 2 | | | ○ |
| ○ | | | 医療面接 | 良好な患者と医療関係者関係を構築する為に必要な、医療面接を行うことができる能力を習得する。 | 2 通 | 30 | 1 | | ○ | |
| ○ | | | 身体観察 | 身体部位を総合的に観察し、施術に必要な身体計測・ROM・MMTを速やかに行うことができるようにする。 | 2 通 | 30 | 1 | | | ○ |
| ○ | | | 臨床入門 | 施術者として必要な診察法や検査法の知識を踏まえた上で、その症候に対する施術の適否を判断する能力を習得する。 | 2 後 | 30 | 1 | ○ | | |
| 合計 | | | | | 19科目 | 960単位時間(| | 32単位) | | |